



文責：進路指導部

〇はじめに

保護者の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。大学入試の合格発表もほぼ終了し、新入生の高校入試も終了しました。今年度の行事も最後の段階に入り、生徒諸君は新たな学年に向けて期待と不安が膨らんでいることと思います。

一・二年生は、先日初めての体育祭を予定して生徒会を中心に準備が進んでおりましたが、あいにくの雨模様となり、ドッジボールのみの開催となりました。しかし、短い時間ながらも大変盛り上がる時間となり、生徒たちには良い気分転換の時間となったはずです。

今回は、今年度の大学入試結果と新年度に向けた準備についてお知らせします。ご質問等がございましたら、お気軽にお寄せください。

1 大学入試合否結果の概要がまとまる

大学入試の日程につきましては、これまでもご案内してきましたが、基本的な情報につきましては、毎年生徒に配布しております「湧泉の記」に掲載しておりますので、ご確認下さい。

(ネットで調べることも出来ます。ベネッセマナビジョン、河合塾 K-net、旺文社パスナビほか)
センター試験の結果は、前回お知らせしたとおりまずまずの成績でした。国公立大学の前期試験では、176名が受験し、99名が合格。中期・後期試験では、43名が受験し19名が合格しました。過年度の卒業生の合格4名を合わせて、国公立合格者数の合計は122名となりました。(うち地元宇都宮大学合格者14名)

また、私立大学の状況は、いわゆる「早慶上理」の合格者が20名、「GMARCH」の合格者が64名となりました。

今年度は、京都大学医学部に合格した生徒がおります。この生徒は3年間部活動に加入して関東大会等にも出場して活躍した生徒であり、三カ年皆勤賞も受賞しています。また学習塾には一度も通っておりません。現役で京都大学に合格したこの生徒は、「授業を大切にし、先生方のご指導を大切にしてお懸命に頑張りました」と受験の報告をしてくれました。

今年度の3年生は、昨年以上に最後まで自分の目標を下げず、学習塾にもほとんど通わず学校の指導のもとで受験に臨んだ生徒が多かった印象があります。2月の特別授業期間も多くの生徒が教室に集まり、クラスの仲間と励まし合いながら学んでいる姿が特に印象に残っております。

2 2年生のこれから

今年の2年生は、とても笑顔のすてきな学年です。(あくまでも印象です)廊下を歩く姿もあいさつする姿も本当に楽しそうです。模擬試験の成績がやや不安ですが、クラスの仲間とのチームワークで、きっと良い成果につなげてくれると期待しております。

まもなく3年生に進級しますが、是非考えていただきたい点がいくつかございますので、ご参考になさって下さい。

- ①志望校に対する条件はどれくらいあるか。(国公立のみ、通学のみ、工学部のみなど)
- ②お子様と保護者の希望に齟齬(ズレ)はないか。(任せきり、過干渉、対話なしなど)
- ③受験期や進学後の経済的な計画が出来ているか。(6年間のケースもあります)
- ④大学入試の最新情報が収集できているか。(毎年変わります)

本校では、3学年になると毎月1回進路指導部の講話を行い、きめ細やかな受験指導を行っております。是非お子様と話し合う時間を持って下さい。また、受験の願書を出す段階で「**志望理由書**」を必須としている大学も見られるようになっており、何を学びたいかを確認しておくことも必要になってきました。

本校では長期休みごとに「志望理由書」を課題として提出することになっておりますので、上記の①～④の例をご参考に、お子様とじっくり話し合う時間を持って下さい。

3 1年生のこれから

「文理選択」が終了し、4月からは新たなクラスになります。今年の1年生は、素直に先生方のお話を最後まで聞いている(あくまでも)印象があります。とても素晴らしいと思います。

模擬テストの成績がやや心配ではありますが、先生方のご指導をしっかり聞いているので、今後に期待したいと思います。

これからの日々は大変ハードで、心身ともに疲労しながらも大きく成長出来る毎日です。部活動の中心メンバーとなり、後輩を指導しながら学校を文字通り引っ張る存在でありながらも、模擬テストも5教科の試験に変化し、大学の合格判定が出されるようになります。また、夏休みには実際に志望大学のオープンキャンパスに参加することも必要になってきます。本当に忙しく、あっという間に過ぎ去っていく学年です。そして恐らくは人生最後の修学旅行が待っています。めまぐるしく変化する毎日に振り回されないために、以下のことにご配慮下さい。

- ①何のために石橋高校に来たのか。(初心を忘れない)
- ②今を大切にしながらも、将来を充実させるために何をすべきか。
- ③やるべきことの優先順位を確認できたか。

2年生は、文字通り中だるみの時期とも言えますが、それだけに**大きく違いが出る時期**でもあります。全国の受験生を視野に入れながら、真剣に毎日を過ごして欲しいと思います。

＊＊今後ともよろしくお願い申し上げます。